令和８年度和歌山県文化奨励賞

出会（であい）　ユキ

住　　所　東京都杉並区
出 身 地　和歌山県東牟婁郡古座川町
生　　年　昭和 60 年

◎　業績及び経歴

和歌山県東牟婁郡古座川町に生まれる。県立古座高等学校、埼玉大学教養学部卒業。

笙を宮内庁式部職首席楽長多忠輝に、笙、右舞、打物を楽師多忠純に師事。

笙演奏家、作曲家、プロデューサーとして、多面的な視野で芸術活動を展開するとともに、海外との友好関係を深めるために日本の伝統音楽をニーズに合った形で紹介してきた。

平成31年、リトアニア・ナウジャパンに出演し、国営テレビで笙と書道の共演が放送される。令和３年、藤岡幸夫指揮、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と武満徹作曲セレモニアルの笙ソリストを務める。同年、一柳慧、藤倉大へ笙独奏曲の作曲を委嘱し、世界初演を実現する。令和４年、和楽器とオーケストラの共演を企画し、杉山洋一指揮の新日本フィルハーモニー交響楽団とソリストとして共演する。令和５年、カンボジアの世界遺産アンコール遺跡群バイヨン寺院で、日本・カンボジア国交樹立70周年記念伝統文化交流事業を共同企画し、オープニングでは、氏が作曲した70周年友好オリジナル曲が両国古典楽団により合奏される。また、桑原ゆう、川島素晴へ和楽器による現代音楽作品の作曲を委嘱し、世界初演を果たす。令和７年、山田和樹指揮のバーミンガム現代音楽グループと共演し、藤倉大作曲笙協奏曲の英国での世界初演及び日本初演のソリストを務める。公演はBBCラジオで放送され、現地新聞でも好評を得る。令和８年、東京芸術劇場で佐藤紀雄指揮アンサンブル・ノマドと共演。同年、天台宗・真言宗の声明と管楽器の文化行事に参加する。

氏は、西洋音楽や現代音楽に雅楽の笙を取り入れることで、世界や日本の人々が、日本の伝統文化に興味を持つ機会が増えると信じて活動を続けており、その思いは実現されつつある。今後もより一層の活躍が期待される。

■現　在

・音楽企画団体 WAN 代表
・笙演奏家、作曲家、プロデューサー

◆主な表彰歴等

令和５年	第３回イブラグランドアワード入賞
	NHK邦楽オーディション合格
令和５～７年	第28回29回30回長谷検校記念くまもと全国邦楽コンクール　奨励賞
令和６年	板橋区国際交流栄誉賞　奨励賞
令和７年	NPO法人芸術・文化 若い芽を育てる会　スポンサー賞